



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月10日

上場会社名 アキレス株式会社

上場取引所 東

コード番号 5142 URL <https://www.achilles.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 守

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理本部長 (氏名) 河野 和晃

TEL 03-5338-8238

四半期報告書提出予定日 2020年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	34,102	△14.6	357	△47.2	624	△28.2	2,212	254.0
2020年3月期第2四半期	39,936	△2.7	676	△7.7	870	△20.0	624	△11.3

(注)包括利益 2021年3月期第2四半期 2,117百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 180百万円 (△76.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	140.81	—
2020年3月期第2四半期	39.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	71,837	42,841	59.6	2,727.15
2020年3月期	72,255	41,353	57.2	2,632.34

(参考)自己資本 2021年3月期第2四半期 42,841百万円 2020年3月期 41,353百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,000	△9.0	1,150	△28.2	1,500	△26.8	2,800	47.7	178.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日(2020年11月10日)公表の「2021年3月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	15,862,714 株	2020年3月期	15,862,714 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年3月期2Q	153,407 株	2020年3月期	152,980 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	15,709,757 株	2020年3月期2Q	15,780,435 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、一部の地域で景気回復傾向が見られたものの、全体としては新型コロナウイルス感染症の流行が収束せず、個人消費や企業業績の低迷に伴い、厳しい状況が続きました。

日本経済も、緊急事態宣言の解除により経済活動が再開され、個人消費に持ち直しがみられたものの、感染拡大防止と経済活動の両立を図る中で、依然として厳しい状況が続き、先行き不透明な状況となりました。

このような事業環境のもと、当社グループは企業価値の増大を目指して、お客様が求める商品・ブランド力のある商品創りに注力してまいりました。具体的には感染症対策製品、省エネルギー関連製品、環境対応製品、防災関連製品、生活関連製品、インフラ整備関連製品などの重点分野、およびグローバル化へ積極的な事業展開を推進するとともに、継続してコストダウンおよび省エネルギー・廃棄物の削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高 34,102 百万円(前年同四半期比 14.6%減)、営業利益 357 百万円(前年同四半期比 47.2%減)、経常利益 624 百万円(前年同四半期比 28.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益 2,212 百万円(前年同四半期比 254.0%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<シューズ事業>

新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛の影響により、ECサイトにおける売上は堅調に推移したものの、多くの百貨店や大型商業施設の臨時休業や営業時間短縮の影響により、主力である衝撃吸収素材「ソルボセイン」搭載のコンフォートシューズ「アキレス・ソルボ」や、ジュニアスポーツシューズの「瞬足」は、前年売上を下回りました。

シューズ事業の当第2四半期連結累計期間の業績は売上高 4,324 百万円(前年同四半期比 24.4%減)、セグメント損失(営業損失)は 681 百万円(前年同四半期はセグメント損失 575 百万円)となりました。

<プラスチック事業>

車輦内装用資材は、新型コロナウイルス感染拡大による自動車メーカーの生産停止および大幅な減産の影響を受け、国内外ともに前年売上を大きく下回りました。

フィルムは、国内では、新型コロナウイルスの飛沫感染対策用透明防災フィルムや抗ウイルス・抗菌性フィルム「アキレスウイルセーフ」が伸長し、北米では医療用、印刷用が好調に推移、欧州・豪州を中心として窓用フィルムが好調に推移したことにより、前年売上を上回りました。

建装資材は、新型コロナウイルス感染拡大による需要の減少により、前年売上を下回りました。

引布商品は、感染症対策エアータントと米国向けゴムボートが好調に推移し、前年売上を上回りました。

プラスチック事業の当第2四半期連結累計期間の業績は売上高 16,055 百万円(前年同四半期比 16.2%減)、セグメント利益(営業利益)は 1,276 百万円(前年同四半期比 18.7%減)となりました。

<産業資材事業>

ウレタンは、車輦用および寝具用に回復の兆しがあったものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響が継続し、前年売上を下回りました。

断熱資材は、新型コロナウイルス感染拡大による建築工事の遅延、住宅着工件数の減少に伴い、前年売上を下回りました。

工業資材は、半導体分野向け搬送用部材の販売拡大、並びに医療機器向けRIM成型品の好調が続き、前年売上を上回りました。

産業資材事業の当第2四半期連結累計期間の業績は売上高13,722百万円(前年同四半期比8.9%減)、セグメント利益(営業利益)は922百万円(前年同四半期比6.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は71,837百万円で前連結会計年度末に比較して418百万円減少しました。

資産の部では、流動資産は41,756百万円となり前連結会計年度末に比較して1,234百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が763百万円、商品及び製品が369百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が2,080百万円、電子記録債権が406百万円減少したことによります。固定資産は30,080百万円となり前連結会計年度末に比較して816百万円増加しました。これは主に、退職給付に係る資産が143百万円、繰延税金資産が114百万円減少しましたが、有形固定資産が1,083百万円増加したことによります。

負債の部では、流動負債は23,789百万円となり前連結会計年度末に比較して1,863百万円減少しました。これは主に、未払法人税等が209百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が1,721百万円、電子記録債務が424百万円減少したことによります。固定負債は5,206百万円となり前連結会計年度末に比較して43百万円減少しました。これは主に、退職給付に係る負債が51百万円減少したことによります。

純資産の部は42,841百万円となり、前連結会計年度末に比較して1,488百万円増加しました。これは主に、為替換算調整勘定が150百万円減少しましたが、利益剰余金が1,583百万円増加したことによります。以上の結果、自己資本比率は59.6%となり前連結会計年度末に比べ2.4%好転しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は7,773百万円(前連結会計年度末比763百万円増加)となりました。

営業活動の結果、増加した資金は1,257百万円(前年同四半期比3,526百万円収入減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,754百万円、売上債権の減少2,452百万円、減価償却費1,486百万円等の増加要因と、関係会社株式売却損益2,181百万円、仕入債務の減少2,123百万円、たな卸資産の増加508百万円、その他の負債の減少315百万円、未払消費税等の減少277百万円等の減少要因によるものであります。

投資活動の結果、増加した資金は250百万円(前年同四半期は1,633百万円の支出)となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入2,406百万円と、固定資産の取得による支出2,170百万円によるものであります。

財務活動の結果、減少した資金は650百万円(前年同四半期比403百万円支出減)となりました。これは主に、配当金の支払額628百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期連結業績予想につきまして、新型コロナウイルス感染症の影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、緊急事態宣言が解除され経済活動が徐々に再開されている状況を踏まえ、第3四半期以降景気が緩やかに回復すると仮定し、第2四半期の業績並びに現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、業績予想を算定いたしましたので公表いたします。

詳細につきましては、本日（2020年11月10日）公表の「2021年3月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,012	7,776
受取手形及び売掛金	18,786	16,706
電子記録債権	3,279	2,873
商品及び製品	9,044	9,414
仕掛品	1,642	1,773
原材料及び貯蔵品	2,042	2,035
その他	1,201	1,190
貸倒引当金	△17	△12
流動資産合計	42,991	41,756
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,731	8,719
機械装置及び運搬具（純額）	5,887	5,696
土地	4,178	4,177
建設仮勘定	908	1,512
その他（純額）	652	1,336
有形固定資産合計	20,359	21,443
無形固定資産	331	244
投資その他の資産		
投資有価証券	3,168	3,232
退職給付に係る資産	2,114	1,970
繰延税金資産	2,446	2,331
その他	906	922
貸倒引当金	△62	△64
投資その他の資産合計	8,573	8,393
固定資産合計	29,264	30,080
資産合計	72,255	71,837

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,066	9,344
電子記録債務	2,892	2,467
短期借入金	2,221	2,200
1年内返済予定の長期借入金	3,000	3,000
未払金	2,003	2,152
未払法人税等	309	518
その他	4,160	4,106
流動負債合計	25,652	23,789
固定負債		
繰延税金負債	361	350
退職給付に係る負債	4,435	4,384
資産除去債務	392	393
P C B廃棄物処理引当金	41	40
その他	18	38
固定負債合計	5,249	5,206
負債合計	30,902	28,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	4,838	4,838
利益剰余金	21,622	23,205
自己株式	△309	△310
株主資本合計	40,792	42,374
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	454	593
繰延ヘッジ損益	54	11
為替換算調整勘定	△161	△311
退職給付に係る調整累計額	213	173
その他の包括利益累計額合計	561	466
純資産合計	41,353	42,841
負債純資産合計	72,255	71,837

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	39,936	34,102
売上原価	31,650	26,738
売上総利益	8,286	7,363
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	2,843	2,642
広告宣伝費及び販売促進費	523	391
貸倒引当金繰入額	5	△2
給料手当及び福利費	2,774	2,705
退職給付費用	58	86
旅費交通費及び通信費	307	152
減価償却費	66	63
その他	1,031	967
販売費及び一般管理費合計	7,610	7,006
営業利益	676	357
営業外収益		
受取利息	2	5
受取配当金	30	30
持分法による投資利益	97	88
不動産賃貸料	41	44
その他	98	165
営業外収益合計	270	334
営業外費用		
支払利息	20	17
為替差損	17	3
支払補償費	16	25
その他	22	20
営業外費用合計	76	66
経常利益	870	624
特別利益		
固定資産売却益	4	18
投資有価証券売却益	12	—
関係会社株式売却益	—	2,181
保険差益	4	0
特別利益合計	22	2,200
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	49	70
特別損失合計	49	70
税金等調整前四半期純利益	842	2,754
法人税、住民税及び事業税	160	479
法人税等調整額	57	62
法人税等合計	217	542
四半期純利益	624	2,212
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	624	2,212

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	624	2,212
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△67	139
繰延ヘッジ損益	△47	△43
為替換算調整勘定	△184	△117
退職給付に係る調整額	△107	△39
持分法適用会社に対する持分相当額	△38	△32
その他の包括利益合計	△443	△94
四半期包括利益	180	2,117
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	180	2,117
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	842	2,754
減価償却費	1,511	1,486
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	△2
受取利息及び受取配当金	△33	△36
支払利息	20	17
為替差損益(△は益)	8	1
持分法による投資損益(△は益)	△97	△88
固定資産除売却損益(△は益)	45	52
投資有価証券売却損益(△は益)	△12	—
保険差益	△4	△0
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△2,181
売上債権の増減額(△は増加)	4,123	2,452
たな卸資産の増減額(△は増加)	△185	△508
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,039	△2,123
未払消費税等の増減額(△は減少)	△125	△277
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△112	△51
その他の資産の増減額(△は増加)	94	85
その他の負債の増減額(△は減少)	△439	△315
小計	4,601	1,263
利息及び配当金の受取額	287	240
利息の支払額	△20	△15
保険金の受取額	4	0
法人税等の支払額	△89	△231
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,783	1,257
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△0	△0
固定資産の取得による支出	△1,653	△2,170
固定資産の売却による収入	4	30
投資有価証券の取得による支出	△17	△16
投資有価証券の売却による収入	21	—
貸付金の回収による収入	11	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	2,406
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,633	250
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△6	△20
自己株式の取得による支出	△409	△1
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△637	△628
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,053	△650
現金及び現金同等物に係る換算差額	△77	△94
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,019	763
現金及び現金同等物の期首残高	5,206	7,010
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,225	7,773

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	5,720	19,151	15,065	39,936	—	39,936
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	71	307	378	△378	—
計	5,720	19,222	15,372	40,315	△378	39,936
セグメント利益又は 損失(△)	△575	1,570	988	1,982	△1,306	676

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△1,306百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	4,324	16,055	13,722	34,102	—	34,102
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	51	236	288	△288	—
計	4,324	16,107	13,958	34,390	△288	34,102
セグメント利益又は 損失(△)	△681	1,276	922	1,517	△1,160	357

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△1,160百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。